



分からないときは
〈ヒント〉を覗きましょう。

第 学 年 組 番 名 前

Ⅰ 次の 1 から 5 までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 ボランティア団体に加入する。
- 2 番組を録画する。
- 3 家庭菜園を楽しむ。
- 4 品種を改良する。
- 5 台風のため停電になる。

1	
2	
3	
4	
5	

Ⅱ 次の 1 から 5 までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 国がさかえる。
- 2 きせつの変化を楽しむ。
- 3 塩のかたまりをふんまつにする。
- 4 美しいけしきをながめる。
- 5 焼いた肉を野菜でつつみ。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- Ⅰ 1 「加」は音読みだよ。
- 2 「録」は「録音」と同じ読みだよ。
- 3 「菜」は「野菜」と同じ読みだよ。
- 4 「品種改良」という言葉は社会科でも習うよ。
- 5 「停」は「停車」と同じ読みだよ。電気がつかず真っ暗になると困るね。
- Ⅱ 1 「えいこう」「えいよう」の「えい」は「さかえる」の音読みだよ。
- 2 「きせつ」の「き」は「気」ではないよ。「せつ」は「せつぶん」の「せつ」だよ。
- 3 「ふん」の訓読みは「ふん」「まつ」の訓読みは「まつ」だよ。
- 4 「けしき」の「け」は「ふうけい」の「けい」「しき」の訓読みは「しき」だよ。
- 5 「小づつみ」や「つつみ紙」と同じ漢字だよ。



かなをいじまほ
へんごをまよほ。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましよう。

- 1 愛着があるぬいぐるみ。
- 2 家の裏に倉庫がある。
- 3 各自でメモをとる。
- 4 有名人と名を連ねる。
- 5 具体的な事例を挙げる。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましよう。

- 1 絵本をもらってよろこぶ。
- 2 げんじゆうにかんりする。
- 3 次のしゆくじつに友達と会う。
- 4 かれにはんせいをうながす。
- 5 ご飯にはお茶をかかすことができない。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「着」は「着陸」と同じ読みだよ。 2 「倉」は「くら」と読んではいけないよ。
 3 「各」は「各地」と同じ読みだよ。 4 「山が連なる」と同じ読みだよ。
 5 「事」は「こと」と読んではいけないよ。
- 二 1 総画数は十二画で、「口」が二つあるよ。
 2 「かん」と同じ部分がある漢字は、「官」や「館」だよ。
 3 「しゆく」は「いろう」という漢字だよ。
 4 「せい」は「しよう」とも読み、たとえば「文部科学しよら」と使うよ。
 5 「けつせき」の「けつ」と同じ漢字だよ。



かながらじまは
〈ヒント〉を覚よう。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましよう。

- 1 たん生日の記念に写真をとる。
- 2 明日の航路を調べる。
- 3 ダムの貯水量が増える。
- 4 植物の生長を観察する。
- 5 手を挙げて発表する。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましよう。

- 1 話し合いのぎだいを決める。
- 2 炭火で魚をやく。
- 3 友達の言葉をしんじる。
- 4 話のようてんをとらえて黒板に書く。
- 5 図書館で本をかりる。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「記」は「記号」と、「念」は「信念」と同じ読みだよ。
- 2 「航」は「航海」と同じ読みだよ。
- 3 「貯水」は「水をためる」ことで、「貯」は「貯金」と同じ読みだよ。「水」は「水源」と同じ読みだよ。
- 4 夏休みに「アサガオの観察」をするよね。
- 5 「先生、あてて。」と思うことがあるよね。「上げる」と同じように読むよ。
- 二 1 「かいぎ」の「ぎ」、「だいめい」の「だい」と同じ漢字だよ。
- 2 火を使うので、部首は「ひへん」だよ。
- 3 部首は「にんべん」、つくりは「いう」という漢字だよ。
- 4 「よう」は大切という意味で、「ようやく」にも使われるよ。
- 5 部首は「にんべん」、つくりは「むかし」という漢字だよ。



かなをいじるときは
（ ）をいじります。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 なわとびの特訓をする。
- 2 外国に行く旅費が必要だ。
- 3 五字以上、十字未満。
- 4 かばんに荷札をつける。
- 5 毎朝六時に目を覚ます。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 料理をこころみる。
- 2 人と自然のかんけい。
- 3 種からめが出る。
- 4 映画をみてわらう。
- 5 交差点をうせつする。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「学校」は「がっこう」とつまって読むよね。
- 2 「旅」の読みは「旅行」と同じだよ。
- 3 「未」は下の言葉を打ち消すよ。完成していないことを「未完成」と言うね。
- 4 「荷」は「荷物」、「札」は「名札」と同じ読みだよ。
- 5 「ねむりから覚める」とも言うよ。
- 二 1 「こころみる」は訓読みだよ。音読みは「しけん」の「し」だよ。
- 2 「かん」の部首は「もんがまえ」、「けい」は「かかり」と同じ漢字だよ。
- 3 植物にかんけいするから、部首は「くさかんむり」だよ。
- 4 「竹」と「犬」を組み合わせてできた漢字だよ。ただし、どちらも形が変わるよ。
- 5 「うせつ」は「みぎに曲がること」だよ。

かなをひらかなで
ひらがなを漢字で

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 体によい大豆を食べる。
- 2 合唱の大会に出る。
- 3 貨物列車で運ぶ。
- 4 会長を投票で決める。
- 5 労働時間が長い。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 金属を加工するきかいを買う。
- 2 長年のきぼうをかなえる。
- 3 けんめいにどりよくする。
- 4 れきしの勉強は楽しい。
- 5 けんこうがいちばん大切だ。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「豆」には、「まめ」、「とう」、「〇」といろいろな読みがあるよ。
 2 「合」は「合体」、「唱」は「唱歌」と同じ読みだよ。
 3 「貨物」の「貨」が使われているよ。「物」は「もの」と読まないでね。
 4 「票」に「木」をつけると「標」となり、どちらも同じ音読みだよ。
 5 「労」は「苦勞」と同じ読みだよ。
- 二 1 「き」も「かい」も「きくん」の漢字だよ。
 2 「き」も「ぼう」も、「のぞみ」という意味をもっているよ。
 3 「ど」の訓読みは「つとめる」だよ。
 4 「れきし」の「れき」は、漢字辞典では「止」の部に出ているよ。
 5 毎朝しているよね、「けんこう観察」。



かなをいじまひ
へんごをまもろ。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 協定を結ぶ。
- 2 赤みを帯びた色になる。
- 3 国語辞典で調べる。
- 4 めずらしいチヨウが飛来する。
- 5 日照時間が長くなる。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 お米のはいきゆうがある。
- 2 さんか者をつのる。
- 3 地図でいちを調べる。
- 4 右か左かをえらぶ。
- 5 赤ちゃんが大きな声でなく。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「協」は「協力」と、「定」は「決定」と同じ読みだよ。
- 2 「帯」の訓読みと似た読みだよ。
- 3 「漢字辞典」もあるよ。「古典」の「典」と同じだね。
- 4 「飛行」、「未来」と同じ読みだよ。
- 5 「照」は「照明」と同じ読みだよ。
- 二 1 「はいたつ」の「はい」、「きゆうしよく」の「きゆう」と同じ漢字だよ。
- 2 「さんかんび」の「さん」と同じ漢字だよ。
- 3 「い」の訓読みは「くらい」、「ち」の訓読みは「おく」だよ。
- 4 「せん手」の「せん」と同じ漢字だよ。
- 5 「さんずい」と「たつ」の組み合わせだよ。



かなをいときま
へんとをまもろ

第 学 年 組 番 名 前

Ⅰ 次の 1 から 5 までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 物事を客観的に見る。
- 2 極地に出かける。
- 3 曲芸をひろうする。
- 4 古くから伝わる食べ物。
- 5 大きな期待をよせる。

1	
2	
3	
4	
5	

Ⅱ 次の 1 から 5 までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 円のちよつけいを求める。
- 2 信用をうしなう。
- 3 春のおとずれをつげる。
- 4 お年玉をちよきんする。
- 5 全員のせいとの前で話をする。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- Ⅰ 1 「客」は「きやく」の読みが変化するよ。「観」は「観察」と同じ読みだよ。
- 2 「極」は「南極」と同じ読みだよ。
- 3 「作曲」、「園芸」と同じ読みだよ。
- 4 「伝わる」は「つ○わる」と読むよ。
- 5 「待」は「自宅待機」と同じ読みだよ。
- Ⅱ 1 「ちよく線」の「ちよく」と同じ、「けい」は「ぎょうにんぐにん」の漢字だよ。
- 2 「矢」と似ているから気をつけてね。
- 3 「新聞こうこく」の「こく」と同じ漢字だよ。
- 4 おかねに関する漢字は「かいへん」だよ。
- 5 中学校に通うのが「せいと」だよ。「と」は「ぎょうにんぐん」に「はしる」と書くよ。



かなはひらきま
くんと 書きま。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 作家を副業とする。
- 2 初秋の風を感じる。
- 3 国を治める。
- 4 必ずお茶を飲む。
- 5 強固な考えをもつ。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 日光をあびる。
- 2 読書をあいこうする。
- 3 ぶどうのたね。
- 4 たんしんで海外に行く。
- 5 鳥のすを見つける。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「副」と「福」は同じ部分をもち、読みも同じだよ。
- 2 「秋」は「あき」と読んではいけないよ。
- 3 「収める」、「修める」も同じ読みだよ。
- 4 「必ず」は「か〇〇ず」と読むよ。
- 5 「固」と「古」は同じ部分をもち、読みも同じだよ。
- 二 1 「さんずい」に「たに」を書くよ。
- 2 「あいこう」とは、「そのことをすきになり、親しむ」ことだよ。
- 3 「のぎくん」に「おもい」を書くよ。
- 4 「たんい」の「たん」、「しんちよう」の「しん」と同じ漢字だよ。「たんしん」は一人という意味だよ。
- 5 「すばこ」、「すだつ」も同じ漢字だよ。



かなをひらかなで
ひらがなを漢字で。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 胃腸いちょうによい飲み物。
- 2 実験じつけんを試みる。
- 3 勉強べんけんが順調じゆんてうに進む。
- 4 おしくも敗北ばいぱくした。
- 5 臣下しんげに命じる。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 ぶんみやくぶんみやくで意味をとらえる。
- 2 体にゆうがいゆうがいな食品てん加物。
- 3 計画がせいこうせいこうする。
- 4 案内状あんないじょうをいんさついんさつする。
- 5 ていくうていくうを飛ぶ。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「胃」も「腸」も体の中にあるよ。
- 2 「実」は「じつ」から読み方が変化するよ。つまる音になるよ。
- 3 「順番」、「体調」と同じ読みだよ。
- 4 「勝敗」の「敗」と同じ読みだよ。「北と七星」の「北」がにぎった音だよ。
- 5 「臣下」とは、「王などに仕える人」のことだよ。
- 二 1 「さんみやく」の「みやく」と同じ漢字だよ。
- 2 「ゆうがい」は「がいがある」という意味だよ。
- 3 「せいこう」の反対の意味の言葉は「失敗」だよ。
- 4 「いん」の訓読みは「しるし」、「きつ」の訓読みは「する」だよ。
- 5 「ていくう」とは、「地面に近いそら、ひくいそら」のことだよ。



かながなを
ひらがなで書こう。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 いつも最前線で働く。
- 2 寒冷な土地で生育する。
- 3 高校球児をおうえんする。
- 4 司法試験を受ける。
- 5 強いチームと対戦する。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 人々のちゆうもくを浴びる。
- 2 かがみで自分の顔を見る。
- 3 しずかに耳をすめます。
- 4 大会に出てしょうひんをもらう。
- 5 買い物にべんりなかごをもつ。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「前線」は「秋雨せん」などで使われるよ。
 2 「寒気」、「冷そう庫」と同じ読みだよ。 3 「野球」、「児童」と同じ読みだよ。
 4 「司」は「司会」と同じ読みだよ。 5 「戦」は「作戦」と同じ読みだよ。
- 二 1 せん線をそぞがれること、人から見られることだよ。
 2 「かがみ」は大昔、金属でできていたから、「かねくん」だよ。
 3 「あお」と「あら(そう)」を組み合わせるよ。あらそうように波立っていた水が、あおくすみわたることを「しずか」というのかな。
 4 「しょう」は「しやうじょう」と同じ漢字だよ。
 5 「べん」の部首は「にんべん」だよ。つくりの左はらいと右はらいは交差するよ。

漢字ふりかえりシート 11 解答

- 一 1 かにゆう 2 ろくが 3 さいえん 4 かいりょう 5 ていでん
二 1 栄 2 季節 3 粉末 4 景色 5 包

漢字ふりかえりシート 12 解答

- 一 1 あいちやく 2 そうご 3 かくじ 4 つら 5 じれい
二 1 喜 2 管理 3 祝日 4 反省 5 欠

漢字ふりかえりシート 13 解答

- 一 1 きねん 2 こうろ 3 ちよすい 4 かんさつ 5 あ
二 1 議題 2 焼 3 信 4 要点 5 借

漢字ふりかえりシート 14 解答

- 一 1 とくくん 2 りよひ 3 みまん 4 にふだ 5 き
二 1 試 2 関係 3 芽 4 笑 5 右折

漢字ふりかえりシート 15 解答

- 一 1 だいず 2 がっしょう 3 かもち 4 どうひょう 5 ろうどう
二 1 機械 2 希望 3 努力 4 歴史 5 健康

漢字ふりかえりシート 16 解答

- 一 1 きょうてい 2 お 3 じてん 4 ひらい 5 にしやう
二 1 配給 2 参加 3 位置 4 選 5 泣

漢字ふりかえりシート 17 解答

- 一 1 きやっかん 2 きよくち 3 きよくげい 4 つた 5 きたい
二 1 直径 2 失 3 告 4 貯金 5 生徒

漢字ふりかえりシート 18 解答

- 一 1 ふくぎやう 2 しょしゅう 3 おさ 4 かなら 5 きやうこ
二 1 浴 2 愛好 3 種 4 单身 5 巢

漢字ふりかえりシート 19 解答

- 一 1 いちやう 2 じっけん 3 じゅんちやう 4 はいぼく 5 しんか
二 1 文脈 2 有害 3 成功 4 印刷 5 低空

漢字ふりかえりシート 20 解答

- 一 1 さいぜんせん 2 かんれい 3 きゅうじ 4 しほう 5 たいせん
二 1 注目 2 鏡 3 静 4 商品 5 便利



ひらがなを
漢字に直して
書いてね。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなで
いねいに書きましょう。

- 1 自転車の事故に注意する。
- 2 最強チームを率いる。
- 3 先生の許可をもらう。
- 4 高い評価を受ける。
- 5 仮説を唱える。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文中の——線部のひらがなを漢字に直し、ていねい
に書きましょう。

- 1 ボールにあつりよくをかける。
- 2 妹に本をかす。
- 3 海のそばにお城をきずく。
- 4 役をえんじる。
- 5 雲間から太陽があらわれる。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「故」の読みを表す部分は「古」だよ。
- 2 「ひ〇(いる)」と読むよ。
- 3 「入室許可」だと「部屋の中に入ることをゆるす」ということだよ。
- 4 よい「評価」だとうれいね。「評」は「好評」と、「価」は「価値」と同じ読みだよ。
- 5 「仮」の訓読みは「かり」だけど、ここでは一文字消えてしまうよ。
- 二 1 「あつりよく」は、「ちからを加えて、おさえつけること」だよ。
- 2 「借りる」とまちがえないように。
- 3 音読みは「ちく」で、「建ちく」とも使うよ。
- 4 「こうえんかい」や「しゅつえん」の「えん」と同じ漢字だよ。
- 5 「すがたをあらわすこと」だよ。「表」と書いてはいけないよ。



ひらがなを
（ヒント）書きます。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 係の目標を提案する。
- 2 損失が大きい。
- 3 糸でマフラーを編む。
- 4 花畑を版画で表現する。
- 5 政治に関心をもつ。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文中の——線部のひらがなを漢字に直し、ていねいに書きましょう。

- 1 デザートが**あまる**。
- 2 出発時間を**たしかめる**。
- 3 家で漢字の**ふくしゅう**をする。
- 4 **すぎ**去った日々が**なつかしい**。
- 5 大通りで店を**いと**なむ。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「堤」は「掘ぼう」と同じ読みだよ。
- 2 「損」は、「損して得とれ」ということわざの読み方と同じだよ。
- 3 「編み物」と言うよね。「記事などを集めて本を作る」ことも「編む」と言うよ。
- 4 ちょうこく刀でほった作品だね。「出版」という場合は、読みが少しちがうよ。
- 5 日本の「政治」の責任者は、内閣総理大臣だよ。
- 二 1 音読みは「よぶん」の「よ」だよ。
- 2 「たしか（める）」ことを「かくにん（する）」とも言うよね。
- 3 「ふく」は「かいふく」、「おうふく」と同じ漢字だよ。
- 4 「現在より前」のことを「かこ」と言うよ。
- 5 「二十四時間えいぎょう」の「えい」と同じ漢字だよ。

まだまだ続くよ。
がんばれ！



分からないまは
ヒントを覗こう。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 格別かくべつにおいしい料理。
- 2 いつも基本きほんを大切にする。
- 3 衛星えいせい放送で観戦する。
- 4 動物を保護ほごする。
- 5 禁句きんくを口にする。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文中の——線部のひらがなを漢字に直し、ていねいに書きましょう。

- 1 気候きこうにてきた野菜を育てる。
- 2 ゆたかな心をもつ。
- 3 畑はたけをたがやす。
- 4 鳥のたいぐんたいぐんが空をまう。
- 5 危険きけんにそなえる。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「格」は「性格」や「人格」と同じ読みだよ。
- 2 「基」は「基地」と同じ読みだよ。何をするにも「基本」が大事だよ。
- 3 「人工衛星」「気象衛星」と同じ読みだよ。「衛生」も同じ読みだけど、意味がちがうよ。
- 4 世界には、絶滅けつめつしそうな動物がたくさんいて、「保護」されているよね。
- 5 「言つてはいけない言葉」のことで、「禁」は「禁止」と同じ読みだよ。
- 二 1 「敵」の部首を「しんによろ」に変えると「でき(する)」になるよ。
- 2 「たくさんあること」を表す「ほうふ」の「ほう」と同じ漢字だよ。
- 3 総画数は十画で、横画が全部で五本使われているよ。
- 4 「ぐん」は「〇〇くん」の「くん」と「ひつじ」の組み合わせだよ。
- 5 「じゅんび」の「び」と同じ漢字だよ。



分からないときは
〈ヒント〉を見よう。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 身動きできない状態になる。
- 2 多くの人が寄付をする。
- 3 規則性に気づく。
- 4 賞を授ける。
- 5 接続語を使う。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文中の——線部のひらがなを漢字に直し、ていねいに書きましょう。

- 1 無実をしょうめいする。
- 2 学校生活になれる。
- 3 友達を家にまねく。
- 4 となりの部やにいすをうつす。
- 5 薬がきいていた痛みがなくなる。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「状」は「賞状」と、「態」は「態度」と同じ読みだよ。
- 2 お金や物を「寄付」とすると喜ばれるよね。
- 3 「規則」は「きまり」のことだね。
- 4 「さ○(ける)」と読むよ。「受(ける)」の反対の行動だよ。
- 5 「接」は「直接」と同じ読みだよ。
- 二 1 「しょう」は、「こんべん」と「ただしい」の組み合わせだよ。
- 2 「生活習かん」の「かん」で、部首は「りっしんべん」だよ。
- 3 「てへん」と「かたな」と「くち」の組み合わせだよ。
- 4 「のぎへん」と「おおい」の組み合わせだよ。
- 5 音読みは「こう」で、「こう果」「こう能」と同じ漢字だよ。



かなひらかな
をひらかなで

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなで
いねいに書きましょう。

- 1 質素な生活を送る。
- 2 大きな責任を負って働く。
- 3 流れに逆らって進む。
- 4 成績が上がるとうれしい。
- 5 読書に夢中になる。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文中の——線部のひらがなを漢字に直し、ていねい
に書きましょう。

- 1 木をもやす。
- 2 体験したことをほうこくする。
- 3 持ち物がしだいにふえる。
- 4 休日げんていのパンを食べる。
- 5 昔の生活をそうぞうする。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「質」は「品質」の読みとはちがって、つまる音「つ」に変化するよ。
- 2 同じ音読みで、同じ部分をもつ漢字に、「体積」「成績」があるよ。
- 3 「ぞ〇(らう)」と読むよ。
- 4 「せ〇〇〇」と読むよ。よく「成績」と書きまちがえるよね。
- 5 「夢」の訓読みは「ゆめ」だけど、これは音読みしよう。
- 二 1 「しぜん」の「ぜん」に「ひくん」が組み合わさると「も(やす)」になるんだね。
- 2 「ほう」は、「つうほう」と、「つく」は「つ(げる)」と同じ漢字だよ。
- 3 数が多くなることだよ。「持ち物がしだいにます」とも言うよ。
- 4 「げん」は「むげん」と同じ漢字だよ。
- 5 「創造」ではなく、「見えないことなどを心の中で思いつかせる」ことだよ。



かなひらきまは
ていねいを書きま。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなでていねいに書きましよう。

- 1 興味をもって話を聞く。
- 2 たくさんの条件を満たす。
- 3 外国と貿易をする。
- 4 昨日の敵は今日の友。
- 5 快く引き受ける。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文中の——線部のひらがなを漢字に直し、ていねいに書きましよう。

- 1 人とくらべる。
- 2 税金を納めるぎむがある。
- 3 書道のしどうを受ける。
- 4 かんしゃの気持ちを歌にこめる。
- 5 山の中で道にまよう。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「興」を「こう」、「味」を「あじ」と読んではいけません。
- 2 法律で「第〇条」とあるよね。「件」は「事件」と同じ読みだよ。
- 3 輸出したり輸入したりすることだよ。
- 4 反対は「味方」だよ。
- 5 「こ〇〇よ(く)」と読むよ。「こ〇ちよ(く)」とよくまちがえるので気をつけて。
- 二 1 算数で習った「ひれい」の「ひ」の訓読みが「くら(ぐる)」だよ。
- 2 「ぎ」は「せいぎ」、「む」は「じむ」と同じ漢字だよ。
- 3 「し」の訓読みは「ゆび」、「どう」の訓読みは「みちび(く)」だよ。
- 4 「しゃ」は「言」、「身」、「寸」という三つの字を組み合わせるよ。
- 5 「しんによ(う)」と「こめ」の組み合わせだよ。



分からないときは
〈ヒント〉を見よう。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 意見に賛成する。
- 2 大きな俵をかつぐ。
- 3 このマークは、とても複雑だ。
- 4 どっしりとした木の幹にふれる。
- 5 畑に肥料をまく。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文中の——線部のひらがなを漢字に直し、ていねいに書きましょう。

- 1 客の注文におうじる。
- 2 愛媛^{えひめ}県のいきん気温を調べる。
- 3 テントをはる。
- 4 ノートにていねいにきじゅつする。
- 5 風をふせぐための林がある。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 学級会で司会者が「賛成の人は手を挙げてください。」って聞くよ。
- 2 わらやよしで編んだお米などの入れ物だよ。「俵型のおにぎり」と同じ読みだよ。
- 3 「複」は「複雑」、「雑」は「雑音」と同じ読みだよ。
- 4 「み〇」と読むよ。
- 5 畑だけではなく、植木ばちに入れることもある植物の栄養だよ。
- 二 1 算数の「おうよう問題」の「おう」と同じ漢字だよ。
- 2 「きん」は、「百田きん」と同じ漢字だよ。
- 3 「ゆみへん」と「なが(い)」の組み合わせだよ。
- 4 「き」は「きるく」、「じゅつ」は「主語・じゅつ語」と同じ漢字だよ。
- 5 「こぎとくん」と「ほうがく」の「ほう」の組み合わせだよ。

かなひきまき
（しん）をきまき。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなでていねいに書きましよう。

- 1 鉢物の成分を調べる。
- 2 海外で学ぶことを志す。
- 3 本に出ていた場所に実際にいく。
- 4 文章の構成を考える。
- 5 プランターを正門に設置する。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文中の——線部のひらがなを漢字に直し、ていねいに書きましよう。

- 1 国をしはいする。
- 2 紙をやぶる。
- 3 商品けんで物を買う。
- 4 家と学校をおうふくする。
- 5 教科書のないうを理解する。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「鉢」の読みを表す部分は「広」だよ。
- 2 「ころ〇(す)」と読むよ。
- 3 「実」は「実験」と同じ読みだよ。「際」の読みを表す部分は「祭」だよ。
- 4 「こ〇せ〇」と読むよ。
- 5 「設」は「設備」の「設」の読み方が変化して、つまった音になるよ。
- 二 1 「し」の訓読みは「ささ(える)」、「はい」の訓読みは「くば(る)」だよ。
- 2 「いしへん」と「かわ」の組み合わせ。「かわ」は、「けがわ」の「かわ」を書いてね。
- 3 「入場けん」、「乗車けん」と同じ漢字だよ。最後に書く部分に気をつけよう。
- 4 「おう」も「ふく」も部首は「ぎょうにんべん」だよ。
- 5 「ないう」の「う」は、「うかんむり」に「たに」を書くよ。



かなをひらき
へんを直す。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 防災訓練に参加する。
- 2 部屋をいつも清潔に保つ。
- 3 薬の効果が現れる。
- 4 久しぶりに手紙を書く。
- 5 恩師と電話で話す。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文中の——線部のひらがなを漢字に直し、ていねいに書きましょう。

- 1 しよくにんの仕事を見学する。
- 2 庭にさくらの木を植える。
- 3 いきおいよくスタートする。
- 4 相手にしようちしたことを伝える。
- 5 弟が泣いてあばれる。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「防」は「予防」、「災」は「災害」と同じ読みだよ。
- 2 「せ○け○」と読むよ。食事の前は手を洗って「清潔」にしてから食べようね。
- 3 「効」の読みを表す部分は「交」だよ。「果」は「結果」と同じ読みだよ。
- 4 「久しく会わない」と同じ読みだよ。
- 5 「恩」は「恩人」と同じ読みだよ。「先生」のことを「教師」と言うよね。
- 二 1 「しよく」は「しよく業」、「しよく員室」と同じ漢字だよ。
- 2 「きへん」、「ツ」、「女」の組み合わせだよ。
- 3 音読みは「せい」、部首は「力」で、十三画の字だよ。
- 4 「しよう」は「でんしよう」、「ち」は「し(る)」と同じ漢字だよ。
- 5 音読みは「ほう」で、「ほう力」の「ほう」だよ。



分からないときは
ヒントを見よう。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 原因と結果。
- 2 仮面をかぶっている。
- 3 人前で話す経験^{けんけん}を積む。
- 4 貧富の差がある。
- 5 出場を辞退する。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文中の——線部のひらがなを漢字に直し、ていねいに書きましょう。

- 1 正月にねんがじょうが届く。
- 2 ちしきを身につける。
- 3 こづつに話を聞く。
- 4 チームがだんけつして勝つ。
- 5 正解へみちびくヒントを出す。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「原」は「原野」、「因」は「要因」と同じ読みだよ。
- 2 「か〇〇」をかぶると、素顔^{すがた}が見えなくなるよ。
- 3 「経」は「神経」、「験」は「実験」と同じ読みだよ。
- 4 「豊富」は「ふ」と読むけど、「貧富」は「ふ」とは少しちがうよ。
- 5 「辞」は「辞典」、「退」は「退場」と同じ読みだよ。
- 二 1 「が」という字は「加」と「貝」の組み合わせだよ。
- 2 「ち」、「しき」とも「しる」という意味だね。「しき」は「意しき」と同じ漢字だよ。
- 3 「こ」は「こ人」、「こ教」と、「づつ」は「づつ人」、「区づつ」と同じ漢字だよ。
- 4 「けつ」は「いとくん」だよ。「むす(ぶ)」とも読むよ。
- 5 「道案内をする」という意味があるから「道」が入っているのかな。

漢字ふりかえりシート 31 解答

- 一 1 じこ 2 ひき 3 きよか 4 ひょうか 5 かせつ
二 1 圧力 2 貸 3 築 4 演 5 現

漢字ふりかえりシート 32 解答

- 一 1 ていあん 2 そんしつ 3 あ 4 はんが 5 せいじ
二 1 余 2 確 3 復習 4 過 5 営

漢字ふりかえりシート 33 解答

- 一 1 かくづつ 2 きほん 3 えいせい 4 ぼこ 5 きんく
二 1 適 2 豊 3 耕 4 大群 5 備

漢字ふりかえりシート 34 解答

- 一 1 じょうたい 2 きふ 3 きそく 4 さま 5 せつぞく
二 1 証明 2 慣 3 招 4 移 5 効

漢字ふりかえりシート 35 解答

- 一 1 しそ 2 せきじん 3 さか 4 せいせき 5 おちゆう
二 1 燃 2 報告 3 増 4 限定 5 想像

漢字ふりかえりシート 36 解答

- 一 1 きょうみ 2 じょうけん 3 ぼうえき 4 てき 5 にころよ
二 1 比 2 義務 3 指導 4 感謝 5 迷

漢字ふりかえりシート 37 解答

- 一 1 さんせい 2 たわら 3 ふくぞつ 4 みき 5 ひりょう
二 1 応 2 平均 3 張 4 記述 5 防

漢字ふりかえりシート 38 解答

- 一 1 こうぶつ 2 にころぞ 3 じぎい 4 こうせい 5 せち
二 1 支配 2 破 3 券 4 往復 5 内容

漢字ふりかえりシート 39 解答

- 一 1 ぼうさい 2 せいけつ 3 こうか 4 ひき 5 おんし
二 1 職人 2 桜 3 勢 4 承知 5 暴

漢字ふりかえりシート 40 解答

- 一 1 げんいん 2 かめん 3 けいけん 4 ひんぷ 5 じたい
二 1 年賀状 2 知識 3 個別 4 団結 5 導

※ 解答は、《解答らん》に書きましょう。

松本さんのクラスは、テレビ会議システムを利用した交流学习に取り組んでいます。今回の相手校は、青森県の小学校です。松本さんのグループは、新居浜市の東平地区をしようかいすることとし、次の取材計画を立てました。

【取材計画】

取材する内容	分担	資料の集め方
今の東平について	松本・田中	新聞・インターネット・現地でのインタビュー取材
東平の歴史について	大木・野村	新聞・リーフレット

松本さんと田中さんは、東平地区で行ったインタビュー取材をもとに、次の資料Aをまとめました。また、大木さんと野村さんは、次のページ、資料Bの新聞記事を用意しました。

【資料A】

観光施設を運営するOさん

「東平は今、『ツアー』といて団体で旅行するお客さんを中心に、大いににぎわっています。旅行雑誌では、『四国のインカ帝国』『東洋のマチュピチュ』『天空の産業遺産』などしようかいされています。これまで東平は、主に他の観光地への行き帰りに立ち寄るだけの場所でしたが、今や観光の中心になりました。」

旅行代理店のツアーガイドTさん

「東平の観光資源としての価値の高さにまつ先に目をつけたのがわが社です。来島海峡の潮流体験などと合わせて、一泊二日のツアーをスタートさせたところ、『四国で最も人気の高いツアー』と言われるほどになりました。」

県外からの観光客Hさん

「森の中に突然、古い建物が現れたり、近づくと、見上げるほどの大きさの建物が残っていたりして、圧倒されました。また、霧が出て、幻想的な雰囲気を楽しめました。」

観光ガイドのYさん

「数年前から東平の価値を発信してきました。①やつと注目されるようになり、ありがたいと思っています。②もつと多くの人に東平のすばらしさを知ってもらい、市民でこの遺産を守っていきたいです。」

【資料B】

新居浜市内から旧別子山村方面へ車で四十分ほど走ると、「東平」とよばれる地域がある。この地域は、近年、「マイントピア別子・東平ゾーン」として整備された。わずかに残る建物の跡が、昭和初期、ここに別子銅山採鉱本部があつたことを物語っている。

東平の開発は、一九〇二（明治三十五）年に始まった。

東平地区に、銅をふくんだ石を運ぶための輸送路が開通したことをきっかけに、労働者用の住宅の建設が進み、工場や小学校、娯楽場などが次々と完成した。

一九二六（大正五）年には、街の最盛期をむかえる。

東平生まれの東平育ち、新居浜市の上松さんは、「人情味あふれる、いい街でした。せまい長屋住まいで、住人は家族も同然。困っている人がいたら、みんなで助け合いました。市街地から離れていましたが、生活物資に困ることはなく、大阪から有名な歌舞伎役者が毎年やってくるなど、娯楽も充実していました。」と、当時をふり返る。

同じく新居浜市に住む長田さんは、「小学校の理科室に、ものすごい数の標本があつたことを覚えています。音楽室には、トランペットやクラリネットなどの楽器もいっぱい。当時あれだけのものがそろっていた学校はなかつたのではないのでしょうか。」と話す。プールやスキー場もあつた。

そんな山の生活に、戦後、合理化の波がおし寄せる。東平は、もともと石の質が悪かつたうえ、戦時中たくさん石をとり過ぎたことが閉山の時期を早めた。

一九六三（昭和三十八）年には合理化策が発表され、百五十人近い若者が山を下りることとなった。大野さんは、地中からほり出した石を外へ運び出す仕事をしてきた。「昔は、何台もの台車に労働者を乗せて入坑したのに、最後には、四台でじゅうぶん過ぎるほどだった。わずかな台車で入坑したときのさびしきは、今でも忘れられません。」

そして、一九六八（昭和四十三）年、閉山。東平は、六十六年の短い歴史を終えた。全盛期に約四千人いた住人も、一割以下の三百七十人に減っていた。

上松さんは、閉山処理を担当し、山を下りる労働者たちを見送った。「ここで一生過ごしたかったのに……、とつぶやくお年寄りや、名残おしそくに山を見上げる子どもたちの姿を見ました。みんなの不安やさびしさを思うと、なみだがあふれました。」

翌年には、ほとんどの施設が解体された。

※ 娯楽…労働の合間に、何かをしたり、見たり、聞いたりして遊ぶこと。

※ 長屋…一つの建物をいくつかに区切つて、たくさんの家族が住めるようにした家。

※ 合理化…企業などが、仕事の効率を上げるために、原材料や労働者を減らすこと。

※ 閉山…山から石をほり出す活動を止めること。

※ 入坑…山の内部にほられた通路に入ること。

※ 名残おしい…別れようとしても、なかなか別れることができない。

※ 解体…もとの形をとどめないように、取りこわすこと。

【三ページ】

松本さんたちは、集めた資料をもとに、青森の小学生に伝えたいことをまとめました。次のメモは、その一部です。

【メモ】

松本

- 旅行雑誌にのっている「四国のインカ帝国」「東洋のマチュピチュ」「天空の産業遺産」という呼び名を使うと、東平のイメージがよく伝わると思う。

大木

- 今は、ひっそりとした山の中に、一時期、約四千人もの人たちが生活し、さまざまな施設があったことを伝えたい。

野村

- 東平地区で石をほり出していた期間は、わずか六十六年。
- そこで暮らしていた人たちが、今も、東平への熱い思いをもっていることを伝えたい。

田中

- 観光客が語った、「霧が出て、幻想的な雰囲気が楽しめる」ことを伝えたい。
- 「幻想的」は、むずかしい言葉だが、次の写真を見てもらえば、少しは分かってもらえると思う。



松本さんたちは、メモをもとにして、次の話し合いをしました。

【話し合い】

松本 今日の編集会議では、発表原稿の作成に向けて、これまでに取材した内容を確認しながら意見を出し合います。

野村 最初に、東平がどんな場所かをイメージしてもらうことが大切です。そこで、はじめは、（X）さんのメモを使って、耳と目につたえるとよいと思います。

大木 （Y）さんのメモの三つの言葉は、東平のイメージを広げるのにぴったりの言葉だと思います。ただ、残念ながら、説明を加えないと分かりにくい言葉があるので、再取材をする必要があります。

田中 （Z）さんのメモにある、東平地区六十六年の歴史は欠かせないと思います。それをしようかするとき、歴史をまとめたパネルを表示してはどうでしょうか。

【四ページ】

- 一 【資料A】の——線部①「やつと」、②「もつと」を、意味を変えないようにして、別の言葉にします。ふさわしい言葉を考えて書きましょう。
- 二 【話し合い】の（ ）XからZに当てはまる人物名を、それぞれ漢字で書きましょう。
- 三 【話し合い】の——線部「歴史をまとめたパネル」について、野村さんは、次の下書きをしました。ところが、松本さんが【資料B】の内容と照らし合わせたところ、書きまちがいがありました。【下書き】から、まちがいの部分をぬき出して、修正しましょう。

【下書き】

東平地区66年の歴史

1902（明治35）年
東平の開通が始まる。
住宅が増え、工場や学校が建つ。

1916（大正5）年
最盛期をむかえる。
○ 住人：約40000人
娯楽がじゅう実。
学校の物品や施設もじゅう実。

1963（昭和38）年
合理化策の発表。
150人近くの若者が山を下りる。

1968（昭和43）年
閉山。
○ 住人：370人

シート 9 解答らん

第 学 年 組 番 名 前

一

①

②

二

X Y Z

三

《まちがい》	↓	《修正》
《まちがい》	↓	《修正》

シート 9 正答例

一 ① ようやく、どうにか、なんとか 等

② ちらに、いつそ、より 等

二 X 田中 Y 松本 Z 野村

三 開通 ↓ 開発

4000人 ↓ 400人

※ 解答は、《解答らん》に書きましよう。

中川さんたちは、次の物語を読んで、感想を述べ合う学習に取り組みました。

【物語】 ※場面ごとに、1～5の番号を示しています。

1

私は、父を、いや、父の仕事を好きになれなかった。

父は、小さな時計店を営んでいた。売っている時計はわずかだったが、客は、次から次へとやつて来た。

「祖父の古い机に眠っていた時計です。」

「ちよつと、見てくれんかな。古道具屋で見つけたんだけど……。」

「大切な時計だから、あんたに任せるよ。」

そう、私の家は、私が生まれるずっと前から修理中心の時計店だった。

父が預かる時計には、機械式と電池式があつた。電池式は、機械式より正確で、値段が安い。ぜんまいを組み合わせて作る機械式は、手間がかかるため、値段が高い。それでも、手づくりの味わいがあるからか、機械式を好む人は多くいた。

機械式時計をよい状態で長く使うためには、定期的な手入れが欠かせない。車でいうメンテナンスのことを、時計では、オーバーホールといった。オーバーホールは、いわば時計の大掃除である。部品を分解して洗い、油をさして、組み直す。

2

私は、小学生のころ、一度だけ、父の仕事ぶりを見た。作業部屋に近づかないよう、母からきつく言われていたのだが、そこで父がしていることに、とても興味があつた。

その日は、なぜか部屋の入り口が開いていた。

遠目から父の背中が見えた。私の好奇心に火がついた。

小さな部屋に、そつと足をふみ入れ、背を丸くした、父の後ろ姿を間近で見た。

——ナニモノモ、ヨセツケナイ。(何者も、寄せつけない。)

父の背中から発せられる声なき声が私の熱を一瞬にして消し去つた。それどころか、私は、こわくなって部屋を出た。

3

幼いころの私が、父の仕事を好かなかつた理由は単純だった。父が、私と遊んでくれなかつたからである。

「次の日曜日、どこに行こうか。」

友達の家では語られていたであろう言葉を、わが家で聞くことはなかつた。

私は、仕事に明け暮れる父をいやがっていたが、仕事をしていないときの父は、きらいではなかつた。口数が少なく、ぶつきらぼうな父だったが、母が父を悪く言うことは

なかつたし、近所の人からも、父の悪口は聞いたことがなかつた。だから、悪く言
 われない父を、私は、いい人なんだと思いこんでいた。

4

中学三年の夏休み、父が突然倒れた。

昼食前、作業部屋から、ドスンという鈍い音が聞こえた。私は、あわててかけつけた。
 作業台の下には、ヘッドループをかけたまま、うめき声を上げる父がいた。

父は、すぐに病院に運ばれた。急性の腸炎だった。幸い大事には至らず、二日後には
 退院した。

父が入院した日の夜、私は、母から作業台の片づけを言い渡された。台の上にも、下
 にも、部品が散乱していた。床に転がった部品を拾おうとしたとき、足下に父のループ
 があることに気づいた。私は、生まれて初めてヘッドループをかけ、あわつぷのような
 歯車を手のひらにのせた。肉眼では見られない、歯車の本当の姿が現れた。

私は、身震いした。それは、想像を絶する美しさだった。

私は、大小さまざまな部品を、次々に手にし、すみずみまでながめた。

最後に、台にあった、丸い裏ぶたを手を取った。ループ越しに、サインが見えた。

〈1980 Sei〉

ふたの縁に沿って、小さいながらも、ていねいな字が刻まれている。

さらに、その横には、

〈1988 Aki〉 〈1990 Aki〉 〈2003 A1〉

とあった。

「一九八〇 セイ」「一九八八 アキ」……サインの意味を、私はすぐに理解した。

私の祖父は、セイジロウ、父は、アキヒロといった。

最後の「二」は、「E」を彫っている途中ということだった。

私は、退院した父に、サインのことを告げた。父は、しばらくだまっていたが、

「直した者がサインを刻む。そうすると、次に直す者がふたを開けたとき、だれがどん
 な仕事をしたかが分かる。一つ、一つ、だれに見られても恥ずかしくない仕事をして
 いるという時計職人の誇りを示すサインだ。」

と、病み上がりとは思えないほど、強い口調で語った。父から仕事の話聞いたのは、
 これが初めてだった。小学生のころに見た、父の背中が思い出された。

5

あれから十年が過ぎた。

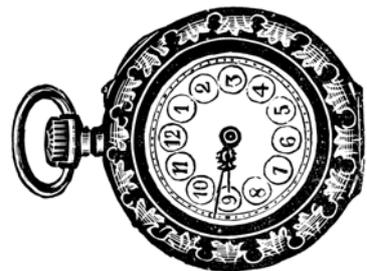
私は今日、ついに、時計の裏ぶたに、

〈2013 Yoji〉

と刻んだ。

私は、名をヨウジという。

※ヘッドループ…頭にかけて使う、細かいものを大きくして見るためのレンズ（拡大鏡）。



【三ページ】

次は、中川さんたちが、この物語について語った感想です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【感想】

〈中川〉

この物語は、(①) の視点で書かれています。父との関係の中で移り変わる、父の仕事に対する (①) の気持ちがよく分かります。

〈田中〉

私が、子ども時代を思い出す形で始まります。過去の場面がほとんどですが、わずかなしかな (②) の場面に、大きな意味があると思います。

〈川口〉

ぼくも、同感です。最後の〈2013 Yoji〉のサインは、(③) ことを表していると思います。

〈青木〉

ぼくは、機械式時計に興味をもちました。ぼくも (④) を、ループで拡大して見てみたいと思いました。

一 (①) に当てはまる言葉として最もふさわしいものを、【物語】の文中からぬき出して、漢字一字で書きましょう。

二 (②) に当てはまる言葉として最もふさわしいものを、次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

ア 未来 イ 現在 ウ 時代 エ 記憶

三 (③) に当てはまる言葉を、次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 「私」「父」「祖父」の三つの言葉をすべて使って書くこと。
- 二十字以上、二十五字以内にとどめて書くこと。

四 (④) には、【物語】の場面4の文中にある、比喩(たとえ)が使われている言葉が入ります。その言葉を、十字でぬき出して書きましょう。

一

--

二

--

三

四

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

シート10 正答例

一 私

二 イ

三 (例1)

父や祖父と同じように、私が時計職人になった (こと) (21字)

(例2)

父や祖父がしていた仕事を私もしているという (こと) (21字)

四 あわつぷのような歯車

【二ページ】

- 一 【資料】の() A、Bに入る言葉として最もふさわしいものを、それぞれ【資料】の文中から二字でぬき出して書きましょう。
- 二 【資料】の——線部「現代の文字」が「止まった存在になる」ことについて、佐藤教授は、どんなことを心配していますか。次のアからエまでの中から、最も適切なものを一つ選んで、その記号を書きましょう。
ア パソコンや携帯電話の変換機能により、言葉がもつ単純さが失われること。
イ 文字や言葉は変化しないという考えが広がり、言葉の豊かさが失われること。
ウ 若い女性の書く文字が乱れることにより、文字がもつ多様性が失われること。
エ はねやひねりをそぎ落とした文字が広がり、文字の確かさが失われること。
- 三 木村さんは、【資料】の内容や自分の体験をもとにして、意見文を書くことにしました。次は、その下書きです。

【下書き】

○文字への関心

ある本に、日本語のひらがなやカタカナは、漢字から生まれたと書いてありました。例えば、「あ」は「安」から、「カ」は「加」からできたという具合です。

この本を読んでから、わたしは、文字に関心をもつようになりました。

○かわいらしい文字へのあこがれ

わたしは、小さい時から習字を習っています。心をこめて書いた文字がほめられるととてもうれしいです。でも、一時期、雑誌などで見かける、少しくずした、かわいらしい文字にあこがれ、ノートに練習していました。ある日、そのノートを見た両親から、「文字は、一画二画ていねいに書きなさい。」と、きびしく注意されました。

○かわいらしい文字のとらえ方

ある資料で、若い女性が書くかわいらしい文字について、愛媛大学の佐藤先生が「ひらがなの ≪ ≫」と述べていました。わたしは、両親と佐藤先生は、見方や考え方がちがうんだなと思いました。

○ポップの文字

街を歩くと、かわいらしい文字で商品などのしょうかいをしているポップと呼ばれるものを見かけます。これを見ると、かつてわたしが書こうとしたかわいらしい文字は、パソコンで簡単に表せることが分かります。

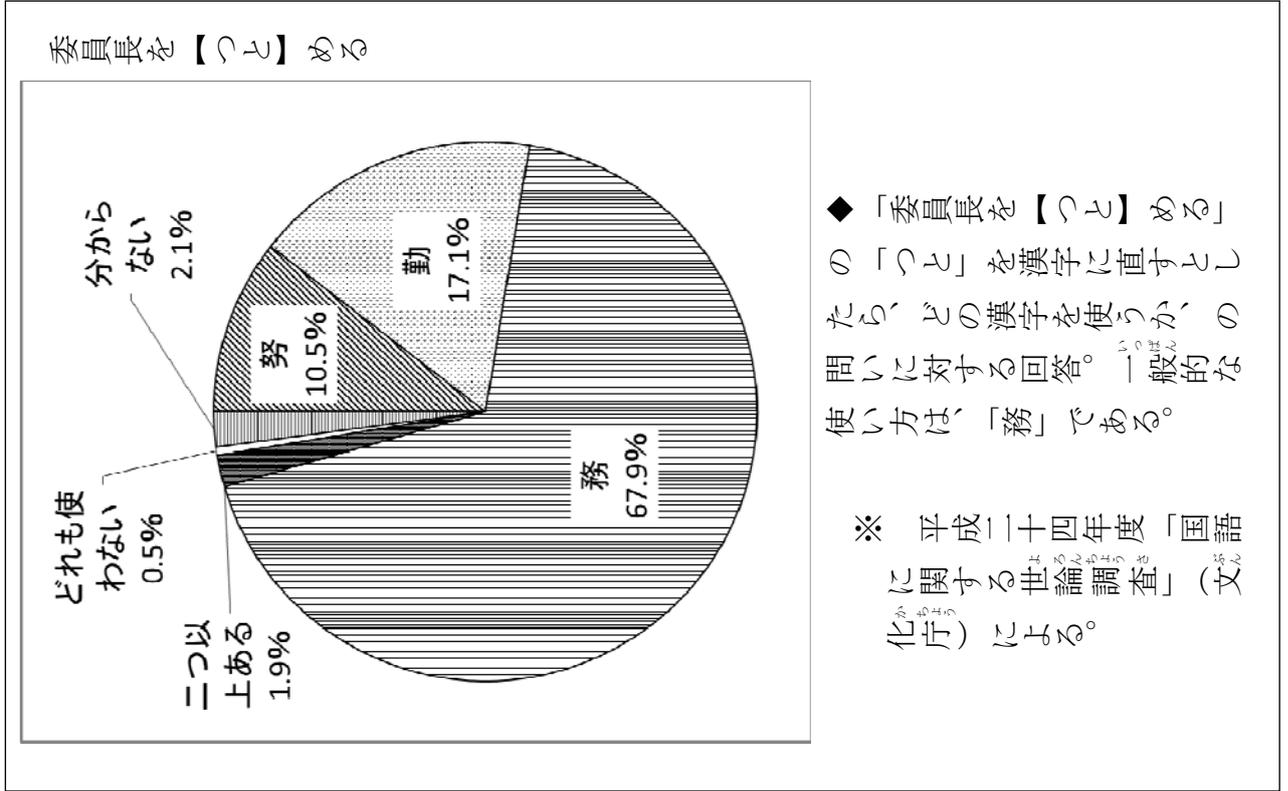
○わたしの考え

今、携帯電話やパソコンを使う人が多くなっています。それらにたより過ぎると、文字を手書きする機会が減り、正しい漢字が使えない人が増えるのではないかと考えます。わたしは、佐藤先生のおっしゃる、文字や言葉の豊かさ、多様性を大切にするうえでも、できるだけ手書きにこだわりたいと思います。

秋の入会キャンペーン
あなたも一度
体験してみませんか？
レッスン1 基本を身に付けよう！
レッスン2 応用にチャレンジしよう！

【三ページ】

- 1 【下書き】の《 》に入る言葉を、【資料】の文中から漢字二字でぬき出して書きましょう。
- 2 木村さんは、意見文に次のグラフを追加することになりました。あとの〈意図〉は、このときの木村さんの考えを示しています。（ ）に当てはまる言葉を、【下書き】の文中から二十一字でぬき出して書きましょう。



〈意図〉

より説得力のある文章にするために、（ ）という自分の考えについて、根拠となる資料を加えよう。

シート 11 正答例

一 A 書く B 打つ

二 イ

三 1 進化

2 正しい漢字が使える人が増えるのではないか

※ 解答は、《解答らん》に書きましょう。

「調べたことをもとに、説明文を書こう」という学習に取り組んでいる和田さんは、次の資料を読み、漢字について調べることにしました。そして、「漢字のおもしろさ」と題して、次のページの説明文を書きました。これらを読んで、あとの問いに答えましょう。

【資料】

昔、旅人が疲れをいやし一休みするところには、のどのかわきをうるおす水がわき出る泉がありました。泉の意味である「地中からわき出る水」があるところの地名には「泉」「清」などきれいな水を表す漢字が使われています。地名に限らず、さまざまなもの名前には、その様子や人々の生活にかかわりがある漢字が使われています。

四季の移り変わりにより、色とりどりの姿を見せる日本の自然。自然の変化の美しさを感じ取り表現する感性や、自然と生活とのかかわりの中でわずかなちがいを表現し、生活に生かす知恵は、日本独特のものであり、すばらしい財産ともいえるでしょう。その中の一つである雨や風の呼び方は、他の国に比べると際立って多くあります。

最近よく耳にする局地的に降る雨のことを「外待雨（ほまちあめ）」と呼びます。自分の畑だけに雨が降り、ほかの人が早く雨が降ってほしいと待っていることからつけられたそうです。また、「五月雨（さみだれ）」は俳句の季語としてもよく使われますが、元は「さ」が田植えを表し、「みだれ」は水が垂れることを表し、その時期が旧暦の五月（今の暦では、六月）であったため、「五月雨」と呼ぶようになったとも言われています。

雨には、四百前後もの呼び名があるとも言われています。有名な「春雨じゃ、ぬれて行こう」という劇のせりふも、次の表にある「春雨」を感じ取れば納得できるでしょう。

雨や風の名前は、自然とともに生きてきた、わたしたちの祖先が残してくれたメッセージともいえるでしょう。

〈表1〉 雨や風を表す言葉（一例）

言葉	読み方	様子（意味）
春一番	はるいちばん	春の訪れを告げる、暖かくて強い風。
春雨	はるさめ	春のやわらかい雨。
薫風	くんぷう	若葉のかおりのする、初夏のさわやかな風。
野分	のわき	秋に吹く強い風。台風。
時雨	しぐれ	秋の終わりから冬にかけて、突然降る強い雨。
木枯らし	こがらし	木の葉を枯らす初冬の風。

【説明文】

まずは、一つめのクイズです。次の漢字は何と読むでしょう。

- ① 銅 ② 胴 ③ 洞

漢字はその成り立ちから、象形文字・指事文字・会意文字・形声文字の四つに分けられます。山の形をかたどって作られた「山」のように、物の形をかたどって表した漢字が《A》です。「上」など形に表しにくい事柄を点や線などの印や図形で表したのが《B》です。木がいつばいある場所を表す「林」や「森」など、二つ以上の漢字を組み合わせて別の新しい意味を表すものを《C》と言います。そして、音を表す部分と意味を表す部分を組み合わせて新しい意味を表すものが形声文字です。

さて、最初のクイズの①から③までの漢字は、すべて「どう」と読むことができます。音を表す右側の部分には、いずれも「同」が使われています。それに、意味を表す「金」「月」「彡」を組み合わせています。ちなみに、「月」は「からだ」、「彡」は「みず」を表します。これらの漢字は、形声文字に当たります。

では、二つめのクイズです。次の漢字は何と読むでしょう。

- ① 鯛 ② 鰯 ③ 秋刀魚 ④ 鰹 ⑤ 鯖 ⑥ 鮪



魚の名前を表す漢字がたくさんあるのは、みなさん知っていることでしょう。二つめのクイズの答えは、①たい、②いわし、③さんま、④かつお、⑤さば、⑥まぐろとなります。それぞれの漢字の由来を調べてみると、その魚の性質や見た目など、いくつかに分類できることが分かりました。

〈表2〉魚を表す漢字の由来（一例）

分類	漢字	説明
ア 性質	鮪	・「有」には、外側を囲むという意味があり、広い範囲を囲むように泳ぐから。（ほかにも、鮪がほかの魚よりも大きく、存在感が「有る」からなど、諸説がある。）
イ 形 (見た目)	秋刀魚 鯖	・秋刀魚の細長い形が「刀」にそっくりだから。 ・鯖は、背中に青黒いしま模様があるから。
ウ 生息状況	鯛	・鯛は、日本の周囲の海、どこにでもいるから。
エ 加工状況	鰹	・「堅」は、かたいという漢字。鰹を加工して作るかつお節がかたいから。

先日読んだ資料には、「自然と生活とのかかわりの中でわずかなちがいを表現し、生活に生かす知恵は、日本独特のもの」と書かれていました。わたしたちの祖先が、見た目だけでなく、さまざまな点から考えて魚を表す漢字を決めたのも、海に囲まれた日本では、魚とのかかわりが深かったからだだと思います。

資料に記されていたように、漢字もまた、「_____」ではないでしょうか。

シート 12 正答例

一 ① 野分（のわか）

② 春雨（はるこめ）

二 A ウ B ア C イ

三 ア

四 自然とともに生きてきた、わたしたちの祖先が残してくれたメッセージ

※ 解答は、《解答らん》に書きましょう。

小学六年生の田川さんは、校区の中学校で開かれた俳句集会を見学しました。次のAからCまでは、各学年の最優秀作品とその解説です。

A

祖母が植え母が育てたかすみ草

わたしが詠んだのは、母が庭の植物に水をやっている光景です。かすみ草は、大好きなおばあちゃんが家に遊びに来たときに植えてくれたものです。おばあちゃんと母がリレーでつないでいるかれんな命を表現しました。

B

祖父思い見上げた空に五月晴れ

わたしの祖父は、昨年大きな病気を経験し入退院をくり返しています。しばらく会っていないおじいちゃんは、だいじょうぶかな。雲一つない青空のように、病気がすつきり治ってくれたらいいな、という願いを込めました。

C

虫つれて島から届く新キヤベツ

離島に住む祖母から送られてきた、新キヤベツを取り上げました。祖母は、農薬を使わず野菜を育てているので、ときどき小さな虫がついています。農薬を使つたきれいな野菜より、愛情がこもった作物のほうがおいしいよ、とほこらしそうに詠みました。

集会のあと、田川さんは、交流会にも参加し、Aの俳句を作った、中学一年生の南さんと話しました。次は、二人が話した内容の一部です。

【対話】

田川 「南さんの俳句で、最も印象的なのは、調子のよさです。」

南 「最初は、題材であるかすみ草と、小さな命が祖母から母へとリレーされていることを組み合わせようと考えました。そこで、

かすみ草祖母から母へと命のリレー

としてみたのですが、これでは、五・七・五のリズムに合わず、『命のリレー』が何を表しているのかが分かりにくいため、五・七・五の音数で、しかも、祖母や母の動きがよく分かる表現に改めました。」

田川 『祖母が』と『母が』『植え』と『育てた』がそれぞれ対になっているところが、調子のよさにつながっているのだと思います。」

南 「そうですね。このような表し方は、江戸時代の俳句にも見られます。」

【二ページ】

一 次は、集会の中で語られた感想の一つです。——線部は、どの俳句について語っていますか。AからCまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

三つの俳句とも、祖父母を思う気持ちにあふれています。それに加えて、この俳句からは、「またやってきた」という発見の喜びが伝わってきて、ほほえましい感じがします。

二 次の俳句には、【対話】の——線部「このような表し方」と同じ表し方をしている部分があります。あとの例にならって、その部分を□で囲みましょう。

菜の花や月は東に日は西に 与謝蕪村

〈例〉

祖母が植え母が育てた かすみ草

三 田川さんは、次の南さんの俳句の作り方を参考にして、あとの俳句を作りました。

南さん

《題材を決め、表したいことを自由に書く》

今日も、庭の植物に水やりをする母を見かけた。近づくと、祖母が家に来たときに種を植えたかすみ草が、たくさんの花をつけている。祖母から母へと、小さな命がリレーされていることに気づいた。

《言葉を選んで、俳句らしくする》

かすみ草祖母から母へと命のリレー

《リズムや言葉の使い方こだわって、俳句を仕上げる》

祖母が植え母が育てたかすみ草



田川さん

《題材を決め、表したいことを自由に書く》

Large dashed box for writing a haiku.

《言葉を選んで、俳句らしくする》

目かくしのタオルにびびいた右左

《リズムや言葉の使い方こだわって、俳句を仕上げる》

スイカわり「右」「右」「左」「そこ」で打つ



右の□に入る文章を考え、次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 三つ以上の文で書くこと。
- 八十字以上、百字以内にとどめて書くこと。

シート 13 正答例

一 〇

二 菜の花や 月 は 東 に 日 は 西 に

三 (例1)

夏休みに家族で海に行ったとき、初めてスイカわりを体験した。目かくし用のタオルでおおわれたぼくの耳に「右」「左」の音がいつもとちがった感じで聞こえてきた。「そこ」の一声で、ぼくはスイカを打った。(97字)

(例2)

祖母の畑ではたくさんのスイカがとれます。わたしたちは、小さめのスイカを選んで、スイカわりを楽しみます。タオルで目かくしをしたわたしのたよりは、弟の「右」「左」「そこ」の音です。(88字)

※ 解答は、《解答らん》に書きましょう。

「平和について考えよう」という学習に取り組んでいる中田さんたちは、一九四五年に起こった松山大空襲当時、小学生だった人たちが体験記をまとめたことを知り、インタビュー取材を行いました。次は、そのときの録音をもとに作ったメモです。

【メモ】

- 松山大空襲の日、どこにいて、何をしていたか。
 - ・ 勝山町の自宅にいた。いつもの警報とちがう雰囲気を感じて、ぱつと目が覚めた。
 - ・ かねの音とサイレン、アメリカ軍の爆撃機の音などが入り交じる中、着の身着のままで逃げた。
- 松山の町の様子は、どうだったか。
 - ・ 石手川方面に逃げたところ、服に火がついている人や助けてと叫ぶ人がいた。まるで地獄のようだった。
 - ・ 松山城の周辺は、火の雨が落ちていたようだった。
 - ・ 現在の松前町から松山を見た。今まで見たことのない大火事になっていた。
- 被害の状況はどうだったか。
 - ・ 同級生が三人亡くなった。現在の喜与町にあった東雲国民学校の校舎は全焼し、クラス名簿も何もかもなくなった。
 - ・ 戦争が終わって朝鮮半島から帰国した。北から南に向かって歩いた。山越あたりから、木の一本もなかった。町が灰になっていた。
- このたび、体験記をまとめたのはどうしてか。
 - ・ 毎年、同期会を開いている。子や孫、今の若い人たちに、当時のことを伝えたいという思いから、数年をかけて体験記づくりに取り組んできた。
 - ・ この体験記を通じて、戦争は大変不幸なこと、また、そんな時代を乗り越えて今があることを知ってもらいたかったから。
- そのほかに伝えたいことはないか。
 - ・ 当時を思い出すと、胸がつまり涙が出て、わたしは、どうしても体験記が書けなかった。みなさんには、こんな人がいることを覚えておいてほしい。
 - ・ わたしたちはみな、いまだに戦争を引きずっている。戦争のことは、死ぬまで忘れられない。

中田さんたちは、松山大空襲について新聞にまとめることにしました。次のページの【話し合い】は、インタビュー後に開いた、編集会議の様子です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【ニページ】

【話し合い】

中田 インタビューで集めた証言については、できるだけたくさんほしいと思います。そのとき、【メモ】にあるとおり、喜与町のような地名や方角が出てくるので、それらが分かる資料を用意します。

安川 ぼくは、「学校の校舎は全焼し」という言葉や、「木の一本もなかった」、「町が灰になつていた」という言葉が心に残っています。そのときの被害の様子が分かる資料があればいいと思います。

木村 『松山市誌』という本で調べたところ、当時の被害の状況について、次のように書いていました。

- ▶ 被災面積 四・七九_{km}²（全市の面積、八七・八一_{km}²の約五・四％）
- ▶ 被災戸数（家の数）一万四千三百戸（全市の戸数、二万六千戸の約五十五％）

ただし、全市の面積の約五・四％といわれても、びんと来ません。①（ ）の学校のグラウンドの広さを調べて、例えば、「グラウンド何面分」といった表し方をしたいと思います。

高山 新聞には、三人が集めた資料を効果的に配置しましょう。

また、取材を通して、②一人一人が感じたことや考えたことものをせましょう。

一 【話し合い】の——線部①（ ）に当てはまる言葉として最もふさわしいものを、次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

ア また イ しかし ウ つまり エ そこで

二 【話し合い】の——線部②「一人一人が感じたことや考えたこと」について、【メモ】を読んであなたが感じたり考えたりしたことを、次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

○ 【メモ】の言葉を使って書くこと。

※ 【メモ】の言葉については、【話し合い】の安川さんの発言にある……線部にならつて、「」（かぎ）でくくること。

○ 八十字以上、百二十字以内にとどめて書くこと。

一 エ

二 (例1)

わたしは、「着の身着のまま逃げた」という言葉が心に残っています。ある本に、空しゆうは、決まって夜中にあつたと書いていました。大切な物を持って出る余裕などはなかったと思います。何もかもなくした人がたくさんいたことを思うと悲しくなります。(120字)

(例2)

最も印象的な言葉は、「当時を思い出すと、胸がつまり涙が出て、わたしは、どうしても体験記が書けなかった。」という言葉です。何十年たっても戦争に苦しめられている人がいることを知りました。(92字)

※ 解答は、《解答らん》に書きましょう。

山口さんは、夏休みの自由研究で昆虫について調べました。次は、山口さんが愛媛大学ミュージアムを訪れ、シバンムシを研究している酒井教授にインタビューをしたときの様子です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

山口 今日、昆虫のことが知りたくて来ました。よろしくお願ひします。これは何という虫ですか。

酒井 これは、ナガイムラクボシバンムシです。四国にだけ生息しています。地球上には、まだわたしたちの知らない生物が山のようにいます。中には人に発見されず、名前もつかないまま消えていくものもいるかもしれません。

山口 ぼくたちの知らない虫が、たくさんいるんですね。

酒井 そうです。わたしが中学生のころ、近くの森や林に行くと、たくさんの種類の昆虫があふれていました。採集して調べても、そのころに見ていた図鑑にはのつていない種類が多く、「もしかすると、新種かな。」とわくわくしました。すぐそばに生きているのに、名前の分からない生物がいるなんて、おもしろいと思いませんか。

山口 ぼくも、新種を見つけてみたいです。先生がシバンムシを研究されるようになったきっかけは何ですか。

酒井 高校時代に、図書館で偶然、古い本を食べるサウテルシバンムシを見つけたことです。研究では、採集した昆虫を、世界中の資料と照らし合わせます。だれも知らない生き物に名前をつけることがいちばんおもしろいです。ネパールやインド、ニューギニアなど、海外へ出向くこともあります。

山口 シバンムシとは、どんな昆虫ですか。

酒井 シバンムシは、家の中や野原など、世界各地にいる虫で、現在、約二千種が確認されています。たばこやそうめん、たたみなどを食べる種類もいて、大発生することもあります。そのため、害虫として見られることが多いようです。でも、人間の生活は、ほかの生物に支えられて成り立っています。それに気づかず、人間が特定の虫を害虫だと決めつけて追い出したり、殺したりしていると、将来、自分たちの生活がおびやかされることになるかもしれません。地球上の生物の本当の姿をとらえ、守らなければならない生物とは何かを明らかにする必要があります。

今日は、山口くんと話せて楽しかったです。また、ミュージアムに来てくださいね。

山口 ぼくも、楽しかったです。今日は、ありがとうございました。



ナガイムラクボシバンムシ

【二ページ】

一 文中の——線部「出向く」を、次のように言いかえます。() に当てはまる漢字一字を書きましょう。

() を選ぶ

二 酒井教授が数ある昆虫の中で、シバンムシを研究しようと思ったのはなぜですか。次のアからエまでの中から、最もふさわしいものを一つ選んで、その記号を書きましょう。

ア 中学時代に、四国にしかないナガイムラクボシバンムシを見つけたから。

イ 高校時代に、図書館で偶然、古い本を食べるザウテルシバンムシを見つけたから。

ウ ネパールやインド、ニューギニアなどへも出向き、多くの新種を発見したから。

エ 愛媛大学ミュージアムに、たくさんのシバンムシが展示されているのを見たから。

三 山口さんは、取材メモをもとに、次の資料を作りました。資料中の《 》 A、B に当てはまる言葉を、あとの条件に合わせて書きましょう。

【資料】

- シバンムシとは
家の中や野原など、世界各地にいる。
現在、約二千種いることが分かっている。

《 A 》

そのため、害虫として見られることが多い。

- 人間の生活と生物について

《 B 》

そのため、特定の虫だけ追い出そうとすると、自分たちの生活がおびやかされることになるかもしれない。



ナミモントサカシバンムシ

〈条件〉

- A、Bとも、文中の酒井教授の言葉をもとにして書くこと。
○ A、Bとも、二十五字以上、三十五字以内の一文で書くこと。

シート 15 正答例

一 足

二 イ

三 A

例 たばこやそばめん、たたみなどを食べる種類もいて、大発生することもある。

(35字)

B

例 人間の生活は、ほかの生物に支えられて成り立っている。(26字)

※ 解答は、《解答らん》に書きましょう。

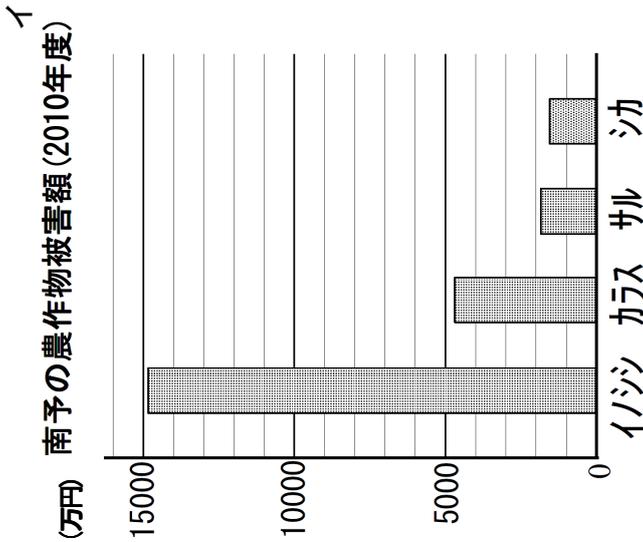
森下さんは、体験したことやグラフをもとにして、次の意見文を書きました。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【意見文】

夏休みに、祖父の家遊びに行った時のことです。夜、山すそにある祖父の畑の前を通りかかると、あちらこちらに青く光るものがありました。近づくと、光の正体は、^{*}LEDライトでした。

祖父は、数種類の野菜を育てています。ところが、近年、イノシシによつて畑が荒らされ、年によつては作物がほとんど収かできなくなりました。そこで、昼間にためておいた太陽の光を使って、夜になったらLEDライトを光らせる装置を取りつけました。そのおかげで、夜間、イノシシが畑に入ることがなくなったということです。

愛媛県が調べたところでは、二〇一〇年度の野生生物による農作物の被害額は、前年度を一億円以上上回り、そのうちの半分以上をイノシシがしめています。また、祖父の住む南予地方のイノシシ被害は、他の地域よりも大きくなっています。

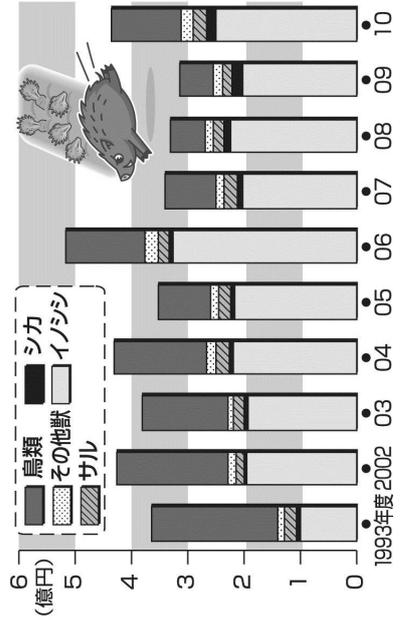


では、どうしてイノシシ被害が増えたのでしょうか。

祖父の話では、イノシシは、もともとなだらかな場所を好むのだそうです。ところが、人間が平野を開発したため、しかたなく山に住むようになりました。しかも、狩りやりよ

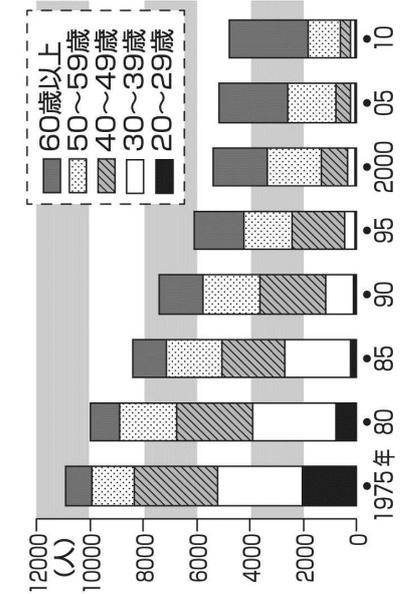
ア

県内の農作物の被害額



ウ

県内の狩猟免許所有者と年齢別内訳



うをする人たちは、イノシシを求めて山に入っていました。人間がイノシシを山のおくへと追いやったともいえます。

しかし、最近、狩りやりようをする人たちの数が減るとともに、高齢化が進んでいます。その結果、人間があまり山に入らなくなりました。また、耕作をしなくなった土地が増え、イノシシがえさをとつたり、ねたりするのに最適な環境が整ってきました。そのため、多くのイノシシが平野で活動するようになりました。

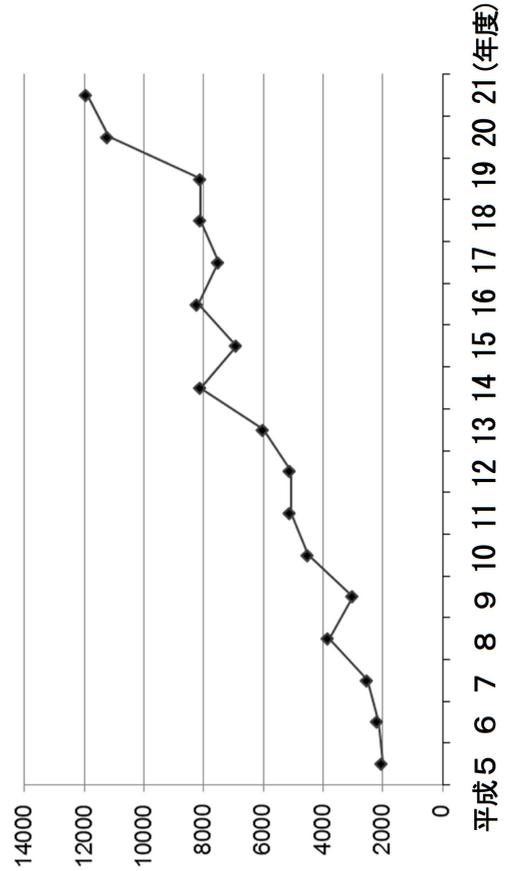
今回、イノシシ被害について調べてみて、分かったことがあります。それは、「被害」というのは、(①) の側に立った見方であるということです。イノシシから見れば、過ごしやすい土地に帰ってきて、おいしいものを食べているだけなのだと思います。にもかかわらず、県内で人間に捕らえられるイノシシの数は、平成五年度から二十一年度までの十六年間で、およそ (②) 倍になっています。

わたしは、イノシシ被害の背後には、人間の無理な開発があると思います。それを認めたらうで、イノシシ、人間、どちらにも配りよした対策を取るべきではないかと考えます。

※ LED:発光ダイオード。

エ

県内のイノシシの捕獲数 (頭)



イノシシ、人間、どちらにも配りよし

- 一 【意見文】の (①) に当てはまる言葉を漢字二字で書きましよう。
- 二 【意見文】の (②) に当てはまる数字を漢字で書きましよう。
- 三 【意見文】の——線部「南予地方のイノシシ被害」が「他の地域よりも大きい」ことを二つのグラフを使って説明します。次の条件に合わせて、説明の文章を書きましよう。

〈条件〉

- アからエまでのグラフのうち、説明に必要なものを二つ選び、その記号を使って書くこと。
- 八十字以上、百二十字以内にとめて書くこと。
- 数字を用いるときは、次の例にならつて漢字で書くこと。

〈例〉二〇一三年十月現在の日本の人口は、およそ一億三千万人である。

シート 16 正答例

- 一 人間
- 二 六
- 三

(例 1)

アのグラフからは、県全体のイノシシ被害額がおおよそ二億五千万円、イのグラフからは、南予地方のイノシシ被害額がおおよそ一億五千万円であることが分かります。したがって、南予地方のイノシシ被害額は、県全体のおおよそ五分の三に当たります。

(113 字)

(例 2)

アとイの二つのグラフを比べると、二〇一〇年度の南予地方のイノシシ被害額おおよそ一億五千万円は、県全体の被害額おおよそ二億五千万円の半分以上をしめることが分かります。(81 字)